繊研新聞　昭和25年10月2日第3種郵便物認可　第21753号　日刊（土曜、日曜、祝日、新聞休刊日を除く）

綿花畑はみんなの居場所

奈良県天理市のH.A.M.A.木綿庵

奈良盆地を望む見晴らしのいい畑で農作業ができる

奈良盆地の東、神社や古墳といった歴史を感じられる山野辺の道のそばに、H.A.M.A.木綿庵（奈良県天理市）はある。「眺めのいい場所で、ゆっくりできる居場所を作ろう」――そんな梅田正之代表の思いから生まれた。（榎田果歩）

生きづらさ抱えた人を支える

自身の経験から

設立は08年。かつて自身も心を病んだ経験から、ひきこもりやうつ、対人恐怖症など心がうつむきがちな人が自然の中で自分と向き合い、心が落ち着く場所を作りたいと考えた。コンセプトは、「畑に草が生えて困っています。居るついでに1本でも抜いてもらえると助かります」。「何もせずただ居るだけでいい」という

栽培だけでなく、わた繰りや糸紡ぎにも挑戦（梅田代表）

はなく、何か役割がある方が自分はここにいていいと安心できるはず」との考えからだ。眺めがよく、周囲に人家のない場所を求めたが条件に合う土地が見つからず、8年ほどかかってようやく農地を手に入れた。

当初は果物栽培を想定していたが、奈良県大和高田市で綿花栽培に取り組んでいる記事を偶然目にし、可能性を感じた。「果物は育てて終わりだが、綿はその後に紡いで糸にし、布を織るということで広がりがある。夢があるなと思いました」と振り返る。その後、活動を継続するために収穫した綿花をコットンボールとして畑の道端で販売し始めた。意外にも購入者が現れ、「コットンボールから採れた種を植えたら綿が収穫できたが、これをどうすればいいか分からない」という問い合わせも寄せられた。そこで講師を招き糸紡ぎの講習会を開催。こちらも好評で、今では機織りにも取り組んでいる。

参加しやすさを

畑は1号から13号まであり、社会人を中心に小中学生や親子三世代で訪れる人もいる。利用者との連絡用のLINEグループには28人が参加し、月に1度種まきなどの共同作業に取り組む。参加しやすいようにあえて細かな決まりは作らない。チャットで日程や内容などを送った後、希望者は個別で連絡を入れるだけで済む。毎回10組ほどが参加し、1人で作業したい人のために作業の説明をまとめた動画も用意した。敷地内で会った人とは必ずあいさつをし、畑の小屋にあるノートに作業内容を記載することだけがルールだ。

黙々と手を動かすことで、自分と向き合えるといった声もある。参加者の中には綿花栽培をきっかけに就労支援事業所に足を運ぶ人もいるなど、自然との触れ合いが社会復帰への足掛かりにもなっている。

今後は綿花栽培に携わる人口を増やし、市内でわた繰りや糸紡ぎなどを学べる教室を開く考え。「かつて天理市でも綿花栽培をしていたが、今は知っている人が少ない。ゆくゆくは奈良と言えば綿というようにしていきたい」と力を込める。

東日本大震災から15年

◆〈総合面〉東日本大震災から15年。復興が進む東北の今を取材しました。1面では近年増えつつある縫製工場のM&A（企業の合併・買収）について連載します。3月8日の国際女性デーにちなみ、ジェンダー平等の進捗状況を探ります。繊研新聞社が主催する百貨店バイヤーズ賞ベストセラー大賞、ディベロッパー&テナント大賞も発表します。

◆〈素材・製造・商社面〉素材や技術のブランディングで世界に挑む産地企業の動向を追いました。世界最大級の生地見本市「インターテキスタイル上海」や、糸の展示会「ジャパン・ヤーンフェア」から見えるトレンドを連載します。

◆〈トレンド面〉パ

繊研新聞

SENKEN

2026年（令和8年）
2月20日
金曜日

繊研新聞社

発行所
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町31-4

編集局
03・3664・2341
業務局
03・3639・8030
大阪支社
06・7639・0570
名古屋支社
052・231・2600

ご購読は 0120-559801

DTP制作・デザイン
万福 株式会社
〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町2-3-4
堀留寿ビル3階
Tel.03-3527-3988
Fax.03-3527-3979
E-mail：manpuku-dtp@dream.jp

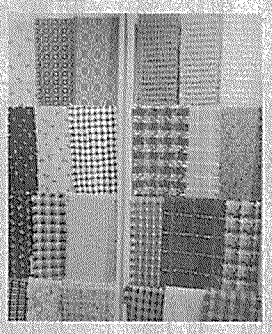
きょうの紙面

来月ビンテージショー開催
総　合　東京クリエイティブサロン 2

新エリアで〝匠の技〟を提案
素材・製造・商社　PVパリ2月展 3

売り上げが倍増ペース
流　通　スタンプスの生地ブランド 4

スタンプスはオリジナル生地を使ったブランド「キジノカノウセイ」の売り上げが倍増ペースで伸びている。



欧州中心に海外で卸先拡大
新興・個性派　デラックスウエア 5

気温上昇で春物が動く
商　品　ジーンズカジュアル店 11

企画・特集
繊研合繊賞／天然繊維特別賞 6 7

休刊のお知らせ

3月 紙面のお知らせ